

○事業所名	ハーフアステップBecoming		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 27日		R7年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65人	(回答者数) 23人
○従業者評価実施期間	R7年 1月 27日		R7年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 1日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの可能性を最大限に引き出すことができるよう、さまざまな評価や検査を用い、分析しながら、日々のセッションで関わっている	STAFFの愛と技術をしっかりと培うことができるよう、月1回の会議・週1回の研修を欠かさず実施している また、セッションを動画撮影(同意書あり)し、Becomingスタッフで検討、各自の苦手をSTAFFみんなまで理解し、前に進んでいる	STAFFみんなが、Becomingで働いていることに誇りを持てるよう、学び合い、高め合いながら、日々自己研鑽に努めることができるよう、運営を進める
2	個別～小集団(2-3名)～大集団(10名程度)など、お子さんに応じた環境や課題セッティングの中でセッションを進めている また、次のステップをしっかりと感じることができるよう、振り返りに努めている	個別・小集団・大集団の集団力動などを理解し、各々の課題に沿った活動と今後必要なスキルを分析し、セッションを進めている	STAFFみんなが、Becomingで働いていることに誇りを持てるよう、学び合い、高め合いながら、日々自己研鑽に努めることができるよう、運営を進める
3	児童発達支援・放課後等デイサービス、共に保護者送迎 保護者と一緒に子を育てることを大切にし、子育ての楽しさやおもしろさ、ワクワクを共有しながら進めている	開設当初から、保護者送迎にて、始まる前やセッション終了後などに対話をする時間(相談など含む)を設けている その日、その時の不安や悩みにすぐに寄り添うことができるよう、努めている	スタッフ一人ひとりの専門性をさらに向上させ、支援の質を高めるとともに、セッション日以外での保護者会や取り組みを増やしていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ただ専門職(スタッフ)がいるということだけでなく、しっかりと学び続けていることを伝えることができていない	アウトプットの弱さ	学会発表や症例発表・研究など、徐々に進めている 来年度は、動いていきたい
2	福祉事業や療育という枠にとどまらず、地域の子どもたちや社会参加という観点からBecomingを広げていくこと	アウトプットの弱さ	SNSやYouTubeなどのマーケティングで、丁寧にBecomingを知ってもらえる機会を増やす 地域密着型で、地域の方との繋がりを大切に捉える
3			